

令和6年度 地方公共団体実行計画策定研修 日程表 (案)

別添2

時分	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																														
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55				
10月7日 1日目 (月)	<研修生 移動>																							13:00~13:20 (20分) <開講式>	13:25~14:35 (70分) <基調講演> 脱炭素政策に関する国内外の最新動向について	14:50~15:50 (60分) <オリエnteーション>	16:00~17:00(60分) <外部講演①> 実効性のある地方公共団体実行計画策定に向けて	17:30~ 18:00 <懇親会 (参加任意)												
10月8日 2日目 (火)	8:50~12:00 (180分)(休憩含む) <個人ワーク①> 事前課題で集めた情報をもとに、受講生ごとに温室効果ガス排出量の推計・要因分析を行う。					13:00~13:30(30分) <外部講演②> 地域新電力の取組紹介					13:40~17:00 (200分)(休憩含む) <個人ワーク②> 事前課題で集めた情報をもとに、受講生ごとに温室効果ガス排出量の推計・要因分析、CO2削減目標、再生可能エネルギー導入目標を策定する。					8:50~9:20(30分) <外部講演③> 小規模自治体における区域施策策定の取組紹介					9:20~12:00 (160分) (休憩含む) <グループワーク1> 区域施策編の施策をグループ別に検討する 施策発表を通じ、多様な視点からの脱炭素について理解を深める。					13:00~13:40 (40分) <グループワーク1 成果発表> 施策発表を通じ、多様な視点からの脱炭素について理解を深める。					13:50~17:50 (240分)(休憩含む) <現地見学> 地域脱炭素の取組事例の現場見学を行うことにより、地域脱炭素の具体的な取組の課題や意義等についてより理解を深める。 (所要時間の関係等必要に応じて見学場所を調整する)									
10月9日 3日目 (水)	●ワーク内容 「環境省作成」地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(簡易版)で目標設定方法、留意点を理解する。 ・各自、配布資料、事前課題で収集した情報(※1)を整理・分析する。  ※1-区域施策編策定にあたっては、各種ツールを活用し、「事務事業、産業構造、温室効果ガス排出量、再エネポテンシャル、地域課題」等の地域の現状を把握、分析しなくてはならないが、これらは事前課題として実施する。					12:00~13:00 昼休み					●ワーク内容 ①再生可能エネルギー導入の促進 ②地域の事業者、住民による再エネその他の排出抑制の推進 ③都市機能の集約化、公共交通機関、緑地その他の地域環境の整備・改善 ④循環型社会の形成の施策を検討し、目標を定める。 ナチーマナ創(教育、観光、福祉、防災等)×脱炭素)の施策をグループ別に検討する。					12:00~13:00 昼休み					●ワーク内容 ①再生可能エネルギー導入の促進 ②地域の事業者、住民による再エネその他の排出抑制の推進 ③都市機能の集約化、公共交通機関、緑地その他の地域環境の整備・改善 ④循環型社会の形成の施策を検討し、目標を定める。 ナチーマナ創(教育、観光、福祉、防災等)×脱炭素)の施策をグループ別に検討する。					●ワーク内容 ①再生可能エネルギー導入の促進 ②地域の事業者、住民による再エネその他の排出抑制の推進 ③都市機能の集約化、公共交通機関、緑地その他の地域環境の整備・改善 ④循環型社会の形成の施策を検討し、目標を定める。 ナチーマナ創(教育、観光、福祉、防災等)×脱炭素)の施策をグループ別に検討する。					13:45 ロータリー集会 13:50 研修所出発					北岩岡太陽光発電所 メガソーラー所沢 YOT-TOKO エア・リキード所 浜松水素ステーション 研修所着				
10月10日 4日目 (木)	8:50~10:55 (125分)(休憩含む) <個人ワーク④> 地方公共団体実行計画(区域施策編)策定作業					11:05~12:00 (55分) <講演> 地域共生型再生エネの導入と再エネ促進区域の設定に向けたゾーニング・合意形成の取組について					13:00~14:50 (110分) <グループワーク②①> 地域共生型再生エネの導入に必要な地域の合意形成について学ぶ(事前準備)					15:00~17:00 (120分) <グループワーク②②> 地域共生型再生エネを導入する際に必要な地域の合意形成について学ぶ(実践編)																								
10月11日 5日目 (金)	8:50~9:30 (60分) <個人ワーク④> 個人ワークの続き					10:00~11:40 (100分) <ワーク成果発表> 目標、発表を通じ、多様な視点からの脱炭素について理解を深める。					11:50~12:10 (20分) <研修の講評>					12:20~12:35 (15分) 閉講式																								
10月11日 5日目 (金)	●ワーク内容 ・各自で所属自治体の区域施策編(簡易版)の完成を目指す。 ・1000部超のワーク成果発表資料を作成させる。(発表資料は区域施策編(簡易版)そのままとすることも可とする。)					●ワーク内容 ・区域施策編策定成果を各人発表してもらう。 ※発表方法については参加人数に応じて調整予定 その後、全体からの質疑応答(20分程度)を行う。					成果発表へのコメント、今後の脱炭素施策へのアドバイス																													

○使用数室：本館3階講室(予定)  
注) 現地見学について、雨天時は見学の一部を中止し、研修所におけるワーク等に変更する場合があります。小雨の場合は実施しますので、雨具等をご持参ください。また、一部未舗装道路を歩きますので、現地見学は歩きやすい靴でご参加ください。  
最終日の閉講式終了時刻は12:35を予定しておりますが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。  
帯路の航空機、列車等の都合により、講義や閉講式等を欠席することは認めません。